

G20開発作業部会サイドイベント 「防災アジェンダの達成に向けた展望」開催のお知らせ

日本は、2018 年 12 月、アルゼンチンから G20 議長国を引き継ぎました。本年 6 月 28 日から 29 日の G20 大阪サミットに向け、国際社会が直面している課題解決のための議論を継続していきます。

近年、気候変動の影響により世界各国で洪水や土砂災害、干ばつ等の自然災害が激甚化しています。2018 年に開催された G20 ブエノスアイレス・サミットの成果文書では、異常気象及び災害に対して強じんなインフラへの投資を含む、包括的な適応戦略の重要性が確認されました。

国際社会における重なりあう政策課題を解決するためには、仙台防災枠組 2015-2030 や SDGs、パリ協定に一貫して取り組む必要があります。2030 アジェンダにおける「誰一人取り残さない」という思想は、防災政策・戦略や行動に反映する必要があります。効果的な防災を行うためには、「包摂性があり、全社会的な対応」が必要であり、そのためには女性や子供、高齢者や障害者など脆弱な人々の視点を反映する必要があります。

このような流れを受け、外務省はこの度、G20 開発作業部会第2回会合の機会に、サイドイベント「防災アジェンダの達成に向けた展望」を国際防災戦略事務局(UNISDR)、国連開発計画(UNDP)、国際協力機構(JICA)と共催で開催いたします。

今回のサイドイベントでは、仙台防災枠組、SDGs、パリ協定の一貫性を確認するとともに、これらのアジェンダを達成するために G20 関係国・国際機関が取り組むべき事項を議論します。また、SDGs を含む防災アジェンダを達成するために、防災における多様な取組(包摂性の配慮等)及び事前防災投資とより良い復興の重要性を確認し、5 月にジュネーブで開催される防災グローバル・プラットフォームや 6 月の G20 大阪サミット、更には 8 月に横浜にて開催予定の第7回アフリカ開発会議(TICAD7)における議論につなげていくことが期待されます。

御関心をお持ちの皆様には是非ご参加いただきたく、下記のとおりご案内申し上げます。

記

- 日 時 : 平成 31 年 3 月 13 日(水曜日) 14:00~18:00(開場 13:30)
- 会 場 : ヒルトン 東京ベイ アンビオ
- 参 加 費 : 無料
- 言 語 : 日本語・英語(同時通訳あり)
- 参加申込み方法 : お手数ですが、[こちらのリンク](#)から申込みフォームをダウンロードいただき、2019 年 3 月 10 日(日)17 時 00 分までに、こちらのメールアドレス(g20dwg-se@mofa.go.jp)に送付ください。
お申込受領の返信は行いません。参加御希望者が定員を超える場合、抽選とさせていただきます可能性があり、予め御了承下さい。御参加いただける方には参加登録証を上記メールアドレスから送付いたします。

● プログラム :

- 13:00 - 14:00 参加者登録
- 14:00-14:25 オープニングセッション
開会の辞:外務省
基調講演「仙台防災枠組, SDGs, パリ協定の一貫性」:UNISDR
・写真撮影
- 14:25-15:25 セッション1:防災における多様な取組
発表者:
- UNDP
- ウガンダ
- EU

パネルディスカッション:発表者等

モデレーター:UNISDR
- 15:25-16:25 セッション2:事前防災投資・より良い復興の重要性
発表者:
- 横松宗太京都大学准教授
- 戸羽太陸前高田市長
- インドネシア

パネルディスカッション:発表者等

モデレーター:外務省
- 16:25-16:50 コーヒーブレイク
- 16:50-17:50 セッション3:仙台防災枠組ターゲット(e)の課題と解決策
発表者:
- JICA
- エクアドル
- ベトナム

パネルディスカッション:発表者等

モデレーター:外務省
- 17:50-18:00 クロージングセッション
閉会の辞:外務省